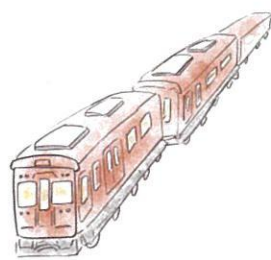


宝塚市の名前の由来

名前の由来は諸説ありますが、江戸時代中頃、大阪の地理研究家であった岡田溪志が記した「摂陽群談」という摂津国の地誌に記載されていることによります。そこには「旧米谷村に塚があり、この塚のもとで物を拾うと必ず幸せになったため、宝塚と呼ばれていた。」と記されており、これが地名の由来になったと考えられています。

たからづか年表

時代	時期	主なできごと
縄文	紀元前1万年前以降 紀元前7,500年頃	仁川高丸や香合新田に有茎尖頭器を使う人々がいた 香合新田や安倉で石鏃を使い狩りをする人々がいた
弥生	紀元前300～ 200年頃	中山荘園出土の銅鐸がつくられる 仁川兩岸の五ヶ山一帯(仁川高台遺跡)に人々が住む
古墳	前期 後期	長尾山古墳、安倉高塚古墳がつくられる 中山寺古墳、中山荘園古墳がつくられる
奈良	7～8世紀	平井窯、勅使川窯で須恵器が焼かれる
平安	8～10世紀 天禄元年(970)	中山寺、清荒神清澄寺が創建される 源満仲が多田院を創建し多田荘(現在の川西市・猪名川町の北部から西谷地区)の勢力を拡大
鎌倉	正応3年(1290) 嘉暦3年(1328)	八王子神社(中筋)の板碑が造立される 八幡神社(波豆)の板碑が造立される
江戸	寛永18年(1641) 元禄14年(1701)	名塩村武田尾直蔵が武田尾温泉を発見する 「摂陽群談」で宝塚の地名が広く世に紹介される
明治	明治20年(1887) 明治22年(1889) 明治23年(1890) 明治30年(1897) 明治43年(1910) 明治44年(1911)	宝塚温泉が開業し、旅館街ができる 良元・小浜・長尾・西谷の4村が生まれる ザ・クリフォード・ウィルキンソン・タンサン鉱泉株式会社が創業開始(ウィルキンソン炭酸のはじまり) 阪鶴鉄道(現JR福知山線)の池田宝塚間が開通 箕面有馬電気軌道(現阪急電鉄)が営業開始 武庫川左岸で宝塚新温泉が開業
大正	大正3年(1914) 大正15年(1926)	宝塚少女歌劇(宝塚歌劇の前身)が初公演 宝塚ホテルが営業開始
昭和	昭和8年(1933) 昭和14年(1939) 昭和16年(1941) 昭和20年(1945) 昭和29年(1954) 昭和35年(1960) 昭和55年(1980) 昭和62年(1987)	宝塚大橋が開通 第二次世界大戦開戦 川西航空機宝塚製作所が操業開始 川西航空機宝塚製作所が米軍の空襲により壊滅 第二次世界大戦終戦 宝塚市が発足(人口約4万人) 宝塚新大橋が完成 建築家・村野藤吾による新市庁舎が完成し、移転する 逆瀬川駅前に再開発ビル“アピア1・2”がオープン
平成	平成6年(1994) 平成7年(1995) 平成13年(2001)	宝来橋(S字橋)が完成 市立手塚治虫記念館が開館 阪神・淡路大震災が発生 長尾山トンネル道路が開通
令和	令和6年(2024)	宝塚市制70周年を迎える



宝塚市文化財通信

Takarazuka Cultural Property News

VOL2

たからづかの歴史



発行年月日 令和5年(2023年)3月31日
 編集発行 宝塚市教育委員会社会教育課
 665-8665 兵庫県宝塚市東洋町1番1号
 TEL 0797-77-2029 FAX 0797-71-1891
<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp>